

目次

- イカルとは
- インストールと起動
- 初めてのイカル
- 操作方法
 - メインメニュー
 - スタート画面
 - 編集画面
 - 文書編集領域
 - ページ編集領域
 - ID
 - スタイル
- HTML変換規則
- テクニカルノート
 - テーブルを表示する
 - リストを表示する
 - 画像を挿入する
 - リンクを挿入する
 - 目次を挿入する
 - テンプレートを使う
 - スタイルシートを使う
 - 変数を使う
- Tips

イカルとは

「イカル」とは、多ページのHTML文書を体系的に効率よく作成するためのアウトラインプロセッサです。

HTMLに詳しくない人のための、また文書作成に専念したい人のためのツールです。

HTMLのタグを使用しなくても複数ページのHTML文書が効率よく作成できることを目的としています。

また通常のWEBページを作成することもできます。

イカルの特徴

- 1つの文書ファイルは複数のページより構成され、1つのページより1つのHTMLファイルが生成されます。
- 文書は複数のページにより階層的に構成され、ページの階層的な関係はいつでも自由に変更できます。
- 1つのページは複数の段落という単位で構成され、段落の階層的な関係はいつでも自由に変更できます。
- HTMLテンプレートが使用できます。テンプレートを変えることにより出力されるHTMLをデザインすることができます。
- テンプレートはWEBで配布されているものを利用したり、HTMLエディタで簡単に作成することができます。
- 1つの文書にWEB用や社内用など複数の目的を設定し、目的別に異なるテンプレートや出力先を切り替えてHTMLファイルを生成することができます。
- 文書のページをタブ区切りテキストファイルよりインポートすることができます。
- 画像の挿入がダイアログで簡単にできます。
- 文書内やページ内へのリンクの挿入がダイアログで簡単にできます。
- 文書目次やページ目次の挿入がダイアログで簡単にできます。
- 変数を用いて文書作成を簡素化することができます。
- ページごとの無制限のUNDOができます。
- 他の文書または文書内でページ単位や段落単位で切り貼りができます。
- 文字列または正規表現で検索と置換を行うことができます。
- HTML生成時に自動的にWEBにアップロードすることができます。

このマニュアルはHTML文書作成アウトラインプロセッサ「イカル」を使って作りました。